



東濱 裕子

- ①ありはま・ゆうこ
- ②1984.8.18 ③178cm
- ④右 ⑤B P
- ⑥オムロン
- ⑦131 試合 337 得点
- ⑧今回で3回目のオリンピック予選となり経験も豊富。OFではダイナミックなロングシュートだけでなく、周りを活かせる視野の広さも持ち味だ。DFでも中央を堅く守って攻守の要となる選手。

プロフィールは①ふりがな ②生年月日 ③身長 ④利き腕 ⑤ポジション
⑥所属 ⑦日本代表出場試合数と得点数（日本協会集計）⑧短評の順

おりひめジャパン 候補メンバー紹介

- ①ほんだ・めぐみ
- ②1986.7.14 ③160cm
- ④左 ⑤RW
- ⑥ソニーセミコンダクタ
- ⑦72 試合 161 得点
- ⑧いわずとしたおりひめジャパンのキャプテン。昨年1年間、デンマークで多くのことを経験し、代表活動に専念するため、今季からソニーに復帰を果たした。プレーだけでなく、的確な言葉でもチームを引っ張れる頼もしい存在。

本多 恵



- ①まつむら・あんり
- ②1991.6.21 ③168cm
- ④右 ⑤LW
- ⑥広島メイプルレッズ
- ⑦12試合51得点
- ⑧独特のフォームから繰り出されるサイドシュートで得点を量産できる選手。鍛えられた自慢の脚力を活かして飛び出す速攻での貢献度も高い。OFだけでなくDF力も高く、若手ながら攻守両面で信頼を得ている。

松村 杏里



永田 しおり

- ①ながた・しおり
- ②1987.10.24 ③171cm
- ④右 ⑤PV
- ⑥オムロン
- ⑦52試合38得点
- ⑧代表屈指のフィジカルを持ち、ハードなコンタクトを得意とするディフェンダー。身体を張って中央を守るだけでなく、声でもDF陣を束ねられるようになってきており、年々その存在感は高まっている。



①ひだ・きみこ

②1977.9.26 ③170cm

④右 ⑤GK

⑥ソニーセミコンダクタ

⑦97試合0得点

⑧ベテランGKが北京オリンピック予選以来、2大会ぶりとなるオリンピック予選へ。これまで培った経験を活かし、安定感は抜群。練習中からつねに高い意識を持っており、GK陣のまとめ役でもある。

飛田 季実子



石立 真悠子

①いしたて・まゆこ

②1987.1.18 ③166cm

④右 ⑤BP

⑥フェーヘルバール／ハンガリー

⑦61試合131得点

⑧おりひめジャパンの司令塔。今年は、足のケガで手術、リハビリと練習できない期間もあったが、キレのあるカットインは復帰後も健在。海外組でチームと合流できる時間は少なかったものの、大黒柱であることは間違いない。

①よこしま・かおる

②1985.12.11 ③161cm

④右 ⑤P V

⑥北國銀行

⑦50試合116得点

⑧機動性が最大の武器。ポストとしては小柄ながら、「低さで勝負」を掲げて、相手DFのスキを突く。難しいパスでも身体を張って、しっかりゴールへつなげるキープ力も。日本OFの生命線。

横嶋 かおる



原 希美

①はら・のぞみ

②1991.3.9 ③171cm

④右 ⑤B P

⑥三重バイオレットアイリス

⑦32試合69得点

⑧不器用なところもあったがこの1年で大きく成長。アウト側への攻めが得意で、DFにスキがあれば、躊躇なく攻め込める。攻撃のみならず、守備でも2枚目、3枚目と重要なポジションを複数担えるところも心強い。

- ①たなべ・ゆき
- ②1989.8.25 ③170cm
- ④右 ⑤LW
- ⑥フェヘールバル／ハンガリー
- ⑦27試合87得点
- ⑧日本にとって心強い大型サイド。ハンガリーに渡ってからは、チームとの合流機会が少ないものの、6月のヒロシマ国際では速攻などで活躍。フィニッシュの正確さと気持ちの強さを見ればヒロインになれる。

田邊 夕貴



藤間 かおり

- ①ふじま・かおり
- ②1982.7.6 ③173cm
- ④右 ⑤GK
- ⑥オムロン
- ⑦77試合0得点
- ⑧安定感のあるキーピングが魅力。ただ構えて待つだけでなく、ヒロシマ国際では、外国人選手のクイックなシュートにも素早い対応を見せた。今回のオリンピック予選にかける想いは強く、GK陣の先頭に立つ選手だ。

①いしの・みかこ

②1988.11.11 ③167cm

④右 ⑤BP

⑥北國銀行

⑦22試合30得点

⑧突破力があり、攻撃で流れを変えられる選手だが、DFでの起用が多そう。運動量が豊富で、アグレッシブなDFにおいて頼れる存在。相手をゴールから遠ざけて、苦し紛れのシュートを打たせる。

石野 実加子



田中 美音子

①たなか・みねこ

②1975.1.14 ③160cm

④右 ⑤BP

⑥ソニーセミコンダクタ

⑦141試合604得点

⑧日本代表として最多出場記録を持つ女子球界のレジェンド。日本リーグ通算1396点は歴代1位。ワンポイントの起用が予想される。コートに立っていないくても、ほかのセンター陣と話し合いながら、ゲームをいっしょに組み立てる。

- ①かわむら・あんな
- ②1991.10.26 ③167cm
- ④右 ⑤B P
- ⑥ソニーセミコンダクタ
- ⑦14試合 17得点
- ⑧栗山監督が東海大時代から信頼を置く秘蔵っ子。昨年はケガもあり本調子ではなく、出番は少なかったが、コンディションは上向き。調子を取り戻し、冷静な判断と、キレのあるプレーでチームに貢献したい。

川村 杏奈



角南 唯

- ①すなみ・ゆい
- ②1991.6.7 ③161cm
- ④左 ⑤B P
- ⑥北國銀行
- ⑦15試合 47得点
- ⑧同じポジションの藤井が不在の間、コートで多くの経験を積んだ。思い切りのよいカットインやミドルで点をもぎ取る。さらに、視野が広く、ポストとのコンビや、飛ばしパスで周りの選手とも合わせられる。

- ①よこしま・あや
- ②1990.7.3 ③162cm
- ④右 ⑤BP
- ⑥北國銀行
- ⑦15試合35得点
- ⑧実の姉・かおるとは所属チームでもコンビを組むだけに、連携は抜群。その2対2から力強いミドルシュート、カットインを得意とする。センターながら得点力も高い伸び盛りの1人。課題は試合全体のゲームメイク。

横嶋 彩



池原 綾香

- ①いけはら・あやか
- ②1990.9.24 ③158cm
- ④左 ⑤RW
- ⑥三重バイオレットアイリス
- ⑦9試合11得点
- ⑧一時メンバーから外れたことで、代表への想いがより強まり、それがプレーにも好影響を与えた。ダイナミックなフォームを習得してシュート確率も向上。強気にシュートを打てることで、ループなどもより活きるように。

- ①しおた・さよ
- ②1989.3.21 ③172cm
- ④右 ⑤B P
- ⑥北國銀行
- ⑦20試合15得点
- ⑧昨シーズンの日本リーグ・プレーオフでMVPを受賞するなど、ここ最近、グンと実力を伸ばしている。DFで中央を守る貴重な存在だけに、所属チームの勢いのまま、日本代表でもその長身を活かし、チームに貢献したい。

塩田 沙代



白石 さと

- ①しろいし・さと
- ②1992.12.2 ③174cm
- ④右 ⑤G K
- ⑥オムロン
- ⑦12試合0得点
- ⑧チーム最年少ながら、ムードメーカー。大きな声で最後尾から盛り立てる。大先輩らの中で少し控えめになっているか。勝負所で見せるダイナミックかつ、大胆なキーピングを十分に発揮し、チームを勢いづけたい。

①ふじい・しお

②1985.3.27 ③164cm

④左 ⑤B P

⑥宣真高教員

⑦106試合540得点

⑧一度はユニフォームを脱いだが、栗山監督の熱望もあり現役復帰を果たした。まだまだコンディション面に不安を抱えるものの、その天性のシュート感覚は不変。世界レベルのシュートを武器に再びオリンピック出場をめざす。

藤井 紫緒



錦織 新

①にしきおり・あらた

②1991.9.7 ③167cm

④右 ⑤P V

⑥ソニーセミコンダクタ

⑦24試合34得点

⑧ 栗山監督就任以降、代表に定着。機動力と走力を兼ね備えたポストとして期待は大きい。今年に入り、ヒザの手術に踏み切り、現在はリハビリに励んでいる。本番までにどこまで回復できるかがポイントになる。

©久保弘毅



カメタニ・サクラ

- ①かめたに・さくら
- ②1987.1.7 ③174cm
- ④右 ⑤GK
- ⑥ヴァイパー・クリスチャンセン/ノルウェー
- ⑦0試合0得点
- ⑧ノルウェー人の父と日本人の母を持つ。6月にお披露目されたばかりの新鋭。最後に日本をオリンピックに導く救世主になるか。

- ①あいざわ・りの
- ②1990.3.26 ③161cm
- ④左 ⑤RW
- ⑥オムロン ⑦12試合31得点
- ⑧速攻の飛び出しが特徴的な左腕サイド。最近の大会ではメンバー入りするもなかなか出場機会に恵まれていないが、最後に生き残れるか。

相澤 莉乃



勝連 智恵

- ①かつれん・ちえ
- ②1989.4.14
- ③158cm
- ④右
- ⑤LW
- ⑥オムロン
- ⑦20試合54得点
- ⑧昨年の仁川アジア大会以降、メンバー入りはなく、現時点では厳しい状況だが、小柄ながらスピードと勝負強さが光る左サイド。

